





東京の皆様お元気ですか。六月の東京鶴翔会が開催される頃は当地も最も良いシーズンを迎えることとなります。盛大な年一回のコンベンションに心から祝意をお送りします。

先日普通・通信制の卒業式が父兄各位もご同席で行なわれました。国歌・国旗がどうしたとかマナーがどうか言われる昨今ですが私共古い世代にとっては実にきちんとした格調の高い式でありました。さすが歴史と伝統を誇る鶴岡南校だなど感じた次第でした。

佐藤校長先生は「祝辞のなかで、「エリート意識」について、今後の人生でどの様にセルフ・コントロールすればよいのか、その必要性をわかりやすく格調高く話されたと思います。

東京に長い皆様方にとって、鶴岡・庄内・山形だけが世界ではないと、いろいろなご経験をお持ちのことと思えます。自分はダメだダメだという極端な劣等意識は大いにマイナスだと思えます。そう卑下することによって人間として向上するのではあれば良いが全くそんなことは期待し得ずマイナスの効果ばかりだと思います。

人間として「エリート意識」を基本

的に持ちながら、それを外へ出さないことが大切だと思います。私は卒業式の祝辞として、先祖代々庄内の豊かさからくる育ちの良い庄内人（鶴南生）は持つて生まれた人柄の良さを持つていけるのではないかとこの私の庄内文明論の一つとして申し上げました、人柄の良さはその人にそなわった天性のものであり努力によってある程度の修正はできても人間固有の本性としておすのは難しいのではないかと考えております。

しかし世の中はせちがらしいし、厳しいのが現実です。これに対処するのにハングリー精神で立ち向かう必要があります。何百年間も裕福に暮らしてきた育ちの良いボンボンにとっては理論的・観念的にハングリーになれと言うことは無理であり、成立しないのではなかないかと思えます。そこで自ら求めて辛いこと、いやなことにあえてどんどんぶつかり、これを克服していく意識と行動が必要であり、このチャージにより人格の良さと、苦しみにくくじけない徳目が加わり、人間として成長するためバランスがとれていくのではないかと考えているところです。

### 第三十回東京鶴翔同窓会総会に寄せて



鶴翔同窓会会長  
笹原信一郎  
(第58回卒)

#### ②特別会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	3,073,970	一般会計へ	0
預金利息	5,343	次期繰越金	3,079,313
一般会計より	0	(定期預金)	3,079,312
	3,079,313	(普通預金)	1
			3,079,313

#### ①一般会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	555,869	総会費	2,435,117
総会費	1,298,000	事務費	1,687,198
年会費	907,850	(印刷費)	930,021
広告費	2,143,000	(通信運輸費)	721,292
		(雑品費)	35,885
雑収入等	183,589	会議費	362,976
(祝い金)	160,000	広告費	21,210
(預金利息)	587	その他	100,908
(物品販売)	23,002	(祝い金)	80,000
特別会計より	0	(その他)	20,908
		特別会計へ	0
		次期繰越金	480,899
	5,088,308		480,899
			5,088,308

### 平成11年度 東京鶴翔同窓会収支決算書

(一九九九年一月一日～二月三十一日)

## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

<p style="text-align: center;"><b>東京羽黒会 事務局</b> <b>山本 四郎</b></p> <p style="font-size: small;">☎120-0005 足立区綾瀬3-17-25-406 TEL/FAX 03-3628-2560 E-mail:yamamoto-rac@h.u-tokyo.ac.jp</p>	<p style="text-align: center;"><b>東京尾浦会</b> (鶴岡市大山の首) (都圏在住者の会)</p> <p style="font-size: small;">尾浦とは昔、庄内に酒井氏が入部する以前に君臨していた武藤氏の「尾浦城(大浦)」にちなむ大山の旧称です。</p> <p style="font-size: x-small;">会長・加藤 眞 事務局・東京都板橋区小茂根1-1-6-303 田中方 〒173-0037 TEL &amp; FAX 03(3972)3705</p>
<p style="text-align: center;"><b>望郷みかわ会</b> <b>方言ぼうや</b> 道の駅 庄内みかわ</p> <p style="font-size: x-small;">茅ヶ崎市東海岸南5-2-30 TEL 0467-86-1934</p>	<p style="text-align: center;"><b>水晶米</b></p> <p style="text-align: center;"><b>船岡米穀店</b></p> <p style="font-size: x-small;">山形県鶴岡市本町一丁目8-29 TEL (0235)22-1236 FAX (0235)25-1236</p>
<p style="text-align: center;"><b>主婦の店 鶴岡店</b></p> <p style="font-size: x-small;">取締役社長 大川 一郎 (59回卒) 本部・鶴岡市大字布目字中通39-2 TEL 0235 (22)2683 帰省の際のお買物は地元のスーパーマーケット主婦の店でぜひどうぞ。</p>	<p style="text-align: center;">高級プリント仕上げは当店で 21世紀の贈りもの…思い出の写真を美しい写真で</p> <p style="text-align: center;"><b>写真のウサミ</b></p> <p style="text-align: right;">大山生協通り TEL33-4335</p> <p style="text-align: center;"><b>写真の店「きりん堂」</b></p> <p style="text-align: right;">下本町 TEL33-2159</p>
<p style="text-align: center;">★ひな人形・五月人形・おもちゃ・乗物★</p> <p style="text-align: center;"><b>マツダストア</b></p> <p style="text-align: center;">松田 孝太郎</p> <p style="font-size: x-small;">〒997-0034 山形県鶴岡市本町1丁目2-3 電話(0235)22-1510番 FAX(0235)25-5510番</p>	<p style="text-align: center;">季節の味を楽しむ…手軽なおかず。</p> <p style="text-align: center;">★当店の新製品★ 肉じゃがコロッケ チキンコロッケ 牛肉巻ごぼう</p> <p style="text-align: center;"><b>長南牛肉店</b></p> <p style="font-size: x-small;">☎(22)0143 折 日吉町本店 FAX(23)2424</p>
<p style="text-align: center;">酒業370年 出羽路に酒あり</p> <p style="text-align: center;"><b>出羽雪</b></p> <p style="text-align: center;">株式会社 渡會本店</p> <p style="font-size: x-small;">山形県鶴岡市大山二丁目2番8号 ☎(0235)33-3262</p>	<p style="text-align: center;">木を生かす 木と語る 世界の銘木を求めて40年!</p> <p style="text-align: center;"><b>岩浪木材センター</b></p> <p style="font-size: x-small;">代表取締役 岩浪 春吉 (62回卒)</p> <p style="font-size: x-small;">本社 山形県鶴岡市道形町20番2号 TEL(0235)23-2211 サウンド・イナマツ 鶴岡市大字大淀川字色田69-1 TEL(0235)25-2388 WOODSHOPイワナミ 酒田市鶴ヶ崎5丁目14番28号 TEL(0234)24-8747 本荘営業所 本荘市薬師堂字山崎100の1 TEL(0184)22-2433</p>

## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

<p style="text-align: center;">月山・羽黒山・湯殿山</p> <p style="text-align: center;"><b>出羽三山神社</b></p> <p style="font-size: x-small;">山形県東田川郡羽黒町手向7 電話 0235(62)2355代 FAX 0235(62)2352</p>	<p style="text-align: center;">孟宗と神楽の里 山頭火の宿 素敵な庭園風呂 旬の味覚自慢</p> <p style="text-align: center;">政府登録 国際観光旅館 <b>ホテル みやご</b></p> <p style="font-size: x-small;">代表取締役 宮田五郎左エ門(54回卒) 〒997-0752 鶴岡市湯田川温泉 TEL 0235-35-2666 FAX 0235-35-3710</p>
<p style="text-align: center;">朝明けは紫に映え、夕日には黄金に輝き、そのすそを日本海にひたす出羽富士鳥海山を思い起して!!</p> <p style="text-align: center;">湯野浜温泉 <b>竹屋ホテル</b> 佐藤 擴 (47回卒)</p> <p style="font-size: x-small;">〒997-1201 鶴岡市湯野浜1-9-25 TEL 0235(75)2031 FAX 0235(75)2040</p>	<p style="text-align: center;">孟宗と梅林の里 湯田川温泉 日観連 <b>たみや旅館</b></p> <p style="font-size: x-small;">代表取締役社長 今野 悦 郎 (66回) 常務取締役 今野 睦 子 (71回 旧姓 沢井) 〒997-0752 鶴岡市大字湯田川乙15 TEL(0235)35-3111代 FAX(0235)35-3116</p>
<p style="text-align: center;">山形県 <b>善宝寺</b> 鶴岡市大字下川</p> <p style="text-align: center;">住職 斎藤 信義 (昭12卒) TEL 鶴岡 (0235)33-3303 (代表)</p>	<p style="text-align: center;">スキースクール 蔵王スキー場に開校して31年目 社団法人 日本職業スキー教師協会 公認校 (有)ZAO フライツァイト シーシュール</p> <p style="font-size: x-small;">〒228-0802 相模原市上鶴間841-5 TEL 042-745-6699 校長 土岐 良次 (52回卒) (ドイツスキー教師連盟名誉教師)</p>



▲大盛況だった第29回総会

この四月、前任の佐藤晃校長先生の退職に伴う人事異動により、第二十七代校長を拝命しました佐藤でございます。歴史と伝統に輝く本校に赴任できたことを喜びとし、今後職務に精励いたす所存でありますのでよろしくお願いたします。

他地区の校長在職二年を経て、県教育委員会において高校教育課長、教育次長と都合三年間を行政畑で仕事をいたしました。久しぶりに教育現場に戻り初々しい高校生の顔を見て、その若々しき、清純さ、一途さが眩しく、また好ましく感じるとともに、この地域を代表する生徒の教育の充実に対する責任を痛感しているところであります。さて、学校の近況を若干申し上げますと、進学面では、昨年度のセンター試験の受験者総数は二一七名(卒業生の92パーセント)で、国立大学の合格者数(三月末現在)は、現役一五名とほぼ前年度並みとなっております。主なところでは、東大一、一橋大一、東工大一、東北大一、東京外語大一、お茶の水大一、新潟大二十三などで東北大、新潟大などの健闘が光っております。私立大学は延べ人数で二二五名

### 第29回東京鶴翔同窓会を終えて



長谷川佳則 (第61回卒)

昨年六月十九日の総会が、盛会に終えたことを皆様感謝します。

・テーマの選定 昨年は、最初にスケジュールを作り、テーマの選定を最優先に議論した。不景気が続く中、これを吹き飛ばす元気の出るテーマという意見も出たが、故郷庄内を長く離れると、食物の旨さ、歴史ある自然豊かな風土が懐かしく、食物と庄内の風土を全面的に出すという結論になり、「ふるさとを楽しもう！」というテーマ

マがきまった。湯田川の孟宗汁と出羽三山神社の宮司による講話をメインに据えることになった。

・事前準備 十二月にはテーマもきまり、61期と71期生の混成チームが具体的活動にはいった。61期生は人数が多く、女性が半数を占める。彼女達のアイデアを生かして、母校金賞受賞合唱団OBを含むコーラスと売店の設置をきめた。コーラスは好評だったと思う。売店も全品売切れた。これもひとえに女性チームのパワーのお蔭である。

・当日の緊張 準備の最終段階で、式次第を検討してみると、乾杯まで40分かかることになった。挨拶して頂く人には、時間制限をしてもらった。ここに改めて協力に感謝します。

酒なしで、40分間、不平の声が出ないか、幹事全員が緊張して会の進行を見守った。司会役の腕もあり、これをうまく切り抜けた時には、一同ホッと胸を撫で下ろした。総会が和やかな雰囲気の中で無事に終了した時には、幹事全員が達成感を覚えると共に、お互いの労をねぎらいあった。

孟宗汁は、文字通り湯田川産で現地

### ご挨拶



鶴岡南高等学校校長 佐藤英治

この四月、前任の佐藤晃校長先生の退職に伴う人事異動により、第二十七代校長を拝命しました佐藤でございます。歴史と伝統に輝く本校に赴任できたことを喜びとし、今後職務に精励いたす所存でありますのでよろしくお願いたします。

他地区の校長在職二年を経て、県教育委員会において高校教育課長、教育次長と都合三年間を行政畑で仕事をいたしました。久しぶりに教育現場に戻り初々しい高校生の顔を見て、その若々しき、清純さ、一途さが眩しく、また好ましく感じるとともに、この地域を代表する生徒の教育の充実に対する責任を痛感しているところであります。さて、学校の近況を若干申し上げますと、進学面では、昨年度のセンター試験の受験者総数は二一七名(卒業生の92パーセント)で、国立大学の合格者数(三月末現在)は、現役一五名とほぼ前年度並みとなっております。主なところでは、東大一、一橋大一、東工大一、東北大一、東京外語大一、お茶の水大一、新潟大二十三などで東北大、新潟大などの健闘が光っております。私立大学は延べ人数で二二五名

早稲田三、慶應三、国際基督一、上智一、中央一、など多数となっております。

また、昨年度の文化・スポーツ面で特筆すべきことは、音楽部が第52回全日本合唱コンクール全国大会高校の部において、四年連続で金賞受賞、吹奏楽研究会がアンサンブルコンテスト全国大会金賞受賞、さらに新聞部が全国高校新聞コンクールで優秀賞を受賞しました。その他、美術部、科学部など東北大、県大会等で大活躍をしております。スポーツ面では、陸上競技部、弓道部、水泳部、アーチェリー部が東北大大会に駒を進め、弓道部、水泳部はさらにインターハイに出場し活躍してくれました。このように在校生は、文武両道の精神で頑張っております。

環境整備では、同窓会のご支援により鶴翔同窓会館の音響設備の改善が完成し、素晴らしい音響効果が得られるようになり、講演会等の行事が盛り上がり大変感謝しております。

近年の社会の変化に伴い高校生の気質も随分様変わりしておりますが、昔に変わらぬ青年の素晴らしさも多く残っております。諸先輩の築いた伝統を大切にしながらも、新しい時代に対応

### 祝 第30回東京鶴翔同窓会

我々が当番幹事です。同期生の諸君、ふるってご出席ください!

鶴南会 (62回) 一同

### 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

#### 桂 医 院

院長 佐久間 弘昭 (61回)

〒997-0300 山形県東田川郡榊引町大字桂荒俣字下桂105-2  
電話 (0235)57-3303

#### 佐藤歯科医院

院長 佐藤 恒雄 (72回)

〒997-0126 山形県東田川郡羽黒町大字野荒町字水上30-2  
電話 0235 (62) 4587 FAX 0235 (62) 2309

#### 佐久間歯科医院

佐久間 寅治 (72回)

〒997-0332 山形県東田川郡榊引町大字西荒屋字川原田227  
電話 0235-57-2179

#### 石原小児科医院

石原 融 (72回卒)

〒997-0032 鶴岡市上畑町3-23  
TEL 0235 (24) 8213

### 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

「仕訳の実際555例」(実業之日本社)11改訂版  
発売中!

公認会計士 榎本 堯 (63回)  
税理士

〒180-0022 東京都武蔵野市境5-7-2-102  
TEL 0422(52)2253 FAX 0422(56)0730

#### 山中税務会計事務所

税理士 山中 昊吉 (61回)  
社会保険労務士

東京都港区芝五丁目20番7-303号  
☎(03)3798-5895(代) FAX(03)3798-5896

#### 本間法律事務所

弁護士 本間勢三郎 (59回)

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-6-2  
旭ビル4階41号室  
電話 03(3669)5582・0736  
FAX 03(3669)0736

#### 寒河江法律事務所

弁護士 寒河江孝允 (70回生)  
S38年卒  
さ が え たか よし

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-7-2 UBEビル5階  
電話 03-3502-0882



で調理し、会場で温め直したものである。安価であり、今後も広くおすすめしたい。

第29回会報の中村明(61)氏の執筆記事「旬花酒湯そして情」のなかで、文部事務官として国立国語研究所に勤めた。は「文部教官として……勤めた。」が正しく、紙面を借りて誤植をお詫びし、訂正します。

東京鶴翔同窓会の益々の発展を祈ります。



一九六四年の六月、僕は十七歳。その日の昼休みも受験生の僕は机に顔を伏せ、しばしのまどろみを待っていた。窓からさす日射はまた春ののびやかさを残し、草のにおいと湿気をたたえた空気が頬を撫でていた。隣の裏に残る数式や英単語を消しきれないでいる僕が、かすかな揺れを感じたのは午後一時を過ぎたばかりの時である。「貧乏ゆすりをするのは誰だ」と後ろを振り向こうとした瞬間、二階の教室全体が大きく揺れ始めた。「地震だっ！」誰もななしに叫び、われ先へと廊下に出て外へ向かっていった。窓ガラスが音を立ててきしみ、階段の降り口にある防火用水の飛沫は空中で踊っていた。事の事態はまだ飲み込めないまま、恐怖を引きずりながら、僕はひとまず玄関前の広場へと向かった。

六月十六日午後一時二分、生まれて初めて経験する大きな揺れが、新潟地震であった。教師達の説明と指導を聞いている間も、グラウンドには小刻みな揺れが続いていた。その都度気持ちの悪い浮揚感が襲い、大地がそのまま裂けるので

# 「一九六四年の六月」

黒羽根洋司 (第72回卒)

はないかという恐怖感に駆られた。それに合わせて木々はうなるような音を立て、商業科の二階教室に吊られた蛍光灯がその振幅を大きくしていた。「くれぐれも気をつけて帰るように。解散」という声がハンドマイクから流れると同時に、僕は図書室に向かった。当時、僕は図書委員長であった。予想したように、書棚は傾き床には本が散乱していた。ガラス片と本とを丁寧に分け、所定の棚に本を収めると、当惑する司書の顔に安堵の色が浮かび始めた。

自分の家の被害を案じながら僕は帰途を急いだ。公園の池の水はまだ波紋を残し、小高い丘には収まり切れない怒気が潜んでいるように見えた。「三日後の金曜日は文芸部との『斜陽』の合同読書会なのに、出来るんだろうか」。いつもとは違う町の空気の中で、家路につく僕の胸もまた震え揺れていた。ふと見上げると空だけは、洗い流したような澄んだ初夏の色をしていた。昭和三十九年の六月、僕は高校三年生。

# 鶴岡・新世紀への夢



鶴岡市長 富塚陽一

東京鶴翔同窓会の皆様、こんにちわ。皆様のご活躍に対し、郷里にある者として心から敬意を捧げ、感謝を申し上げます。さてこの度は、第三十回総会開催の機会に、拙稿を寄せるようにとのご案内を戴き、まことにありがとうございます。

鶴岡市を始め庄内地域は、ご多聞に漏れず、景気は冴えないし、お米を巡る状況も厳しさが続いています。まあこの靄を何とかならないかと言う愚痴が、つい口に出る感じの毎日です。けれども昨今は、「やがて新世紀を迎え、この鶴岡や庄内には明るい希望が持てる話題が幾つかある。」と言える状況もあり、ありがたいことです。その最たるものは、新世紀・来年に慶應義塾大学の先端環境科学研究センターが鶴岡に、東北公益文科大学の学部が酒田に開設されることです。すでに施設づくりが始まっていて、一時は夢かと思つたこの構想が、愈々具体的に

## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

水門・橋梁 設計製作  
**株式会社 興和製作所**  
〒997-0034 山形県鶴岡市本町三丁目6番33号  
TEL (0235)22-6363(代) FAX (0235)22-6365

かけがえのない水  
英知と技術でリサイクル  
**東北環境開発株式会社**  
取締役社長 木村有為  
専務取締役 泉川智子  
本社/鶴岡市字下清水字打越2-1 ☎(0235)24-3110(代)

<やまぎん>総合口座と<やまぎん>バンクカードが  
フレッシュライフを完全サポート  
  
さくらんぼの山形銀行です。  
**山形銀行**  
東京支店 中央区京橋二丁目5番16号 TEL (3567)1861  
Home page = <http://www.yamagatabank.co.jp/ync/>  
E-mail = [ync@yamagatabank.co.jp](mailto:ync@yamagatabank.co.jp)

いつまでも あなたのそばに……  
「つるしん」です。  
**鶴岡信用金庫**

弁護士 **赤谷孝士** (62回卒)  
法律事務所 酒田市東泉町二丁目2-2  
〒998-0013 TEL (0234) 26-3125(代)  
FAX (0234) 24-8875

金属加工で創る新時代  
**株式会社 庄内シャーリング**  
代表取締役社長 **池田恭平** (61回)  
〒999-7611 山形県東田川郡藤島町大字上藤島字上川原80  
TEL 0235-64-3600 FAX 0235-64-3700

[友人より一言]  
“海坂藩の町医者”を自認する黒羽根洋司氏が、めでたく第29回らくがき文学賞を受賞。荘内日報に連載された「父の父たちの秋」がその受賞対象に。その受賞作に、幕末の荘内藩抗争の中心人物で、逆臣という汚名のままに無念の死を遂げた大山庄太夫に関する四編を新たに加え、『懐かしき人々』を上梓。早速、東京鶴翔同窓会から、庄内人必読の書とのご推奨を頂戴。尚、黒羽根氏は、同書の売り上げ金の一部を、傷みのはげしくなっている大山庄太夫の墓地修復の費用にあてたいとのこと。よろしくご協力の程、お願い申し上げます。(野沢良治記)  
★第30回総会会場でも、同書の頒布(1,300円)を予定しています。

## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

総合建設コンサルタント 設計業・施工管理業・建設業・不動産業  
**IN 誠実・信用** これがわが社のモットーです  
(社)全国宅地取引業保証協会会員  
東京都不動産協同組合員  
鶴岡市内・仲介物件多数有  
**アイ・エヌ・シー技術開発株式会社**  
代表取締役 **野沢良治** 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-38-1-402  
電話 (03)3983-3136(代) FAX (03)3985-0016

郷土庄内のニュースを満載!  
**荘内日報**  
庄内唯一の日刊紙  
本社/〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-29 ☎(0235)22-1480(代)  
東京支局/〒272-0805 千葉県市川市大野町1-383-10 ☎(047)337-6568

翻訳業(フランス語 英語)  
特許明細書等の技術文献—化学、医薬、バイオ、化粧品等  
**小林佐智子** (72回卒)  
〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-3-5-507  
電話/FAX: 03-5438-4879  
e-mail: [ezc00546@nifty.ne.jp](mailto:ezc00546@nifty.ne.jp)

整形外科・リハビリテーション科  
**黒羽根整形外科**  
黒羽根 洋司 (72回)  
診療時間 AM9~12・PM2~6 入院設備あり  
日・祭日休診、土曜午後休診  
鶴岡市城南町6-67 電話 24-9680  
(鶴岡市立第三中学校東側)

母校は明治二十一年を創立の年として、百二十二年の歴史を刻み、その間に有為な人材を世に送り、往時はその名を全国に馳せたと聞かされたが、我々六十二期の仲間もその歴史の繋がりを切ることなく、伝統の一端を担ってきたことを自負しております。

多くの同窓生が相寄り、相語り、相励まし合いながら、人生の齢を重ねてきたその仲間の一人として存在し得たのは、仲間との繋がりが励みとなつて今日に到つたものと考えております。

六十二期生の仲間意識は、他の期のそれ同様か又は凌駕しているものと己惚れており、又己惚れを確かめ合う機会にも恵まれていたことはうれしくも又有難いことと実感しております。

又、私は伝統ある鶴南蹴球部に三年間在籍しましたがこの仲間の連帯意識が強いことも人後におぢません。丁度今時は、新入生の入部もあり、新陣容で臨む春の庄内リーグが公式戦の初戦であり、新チームをトップコンディションにもつていく難しさを経験したことを想い出しております。

庄内浜の潮風が容赦無く吹き付け、ぼろぼろになった私の加茂の実家が、平成一〇年に「登録有形文化財」となつて生まれ変わりました。

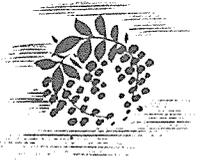
両親が高齢となり、北国での二人暮らしは困難ということで、東京の長兄の所に来てからは夏に帰る程度で、手入れもされず痛みが激しくなっていました。自分達の思い出の傷があらわらちちらに残っており、それなりに愛着がありました。

だが、実家の改修工事を見て古い物を維持し、尚且つ現代に息づかせることの大変さを実感しました。

文化財と成つた故郷の家を思い出す度、このように家を守ってくれる兄の居ることに感謝の思いでいっぱいです。

### 故郷の家

末澤 章子  
(旧姓 石名坂)  
(第73回卒)



### 友情の絆を 来世紀へ



第30回東京鶴翔同窓会  
実行委員会委員長  
池田 惇二  
(第62回卒)

母校は明治二十一年を創立の年として、百二十二年の歴史を刻み、その間に有為な人材を世に送り、往時はその名を全国に馳せたと聞かされたが、我々六十二期の仲間もその歴史の繋がりを切ることなく、伝統の一端を担ってきたことを自負しております。

このような同期の仲間や蹴球部が育んでくれた仲間の興に乗せられ、ミレニアムに開催する記念すべき三十回目の同窓会のお世話を引き受けたのも、連綿と続く母校を通じた仲間意識、友情の絆が決断させたものであり、実行委員が皆で、私を引き廻してくれるものと安心して居る反面、日増しに昂まる緊張感を感じながら、準備を進めております。

<h2>祝 第30回 東京鶴翔同窓会</h2> <p>あなたのたった1つの笑顔でありたい</p> <h3>Grand el Sun</h3> <p>山形県鶴岡市東原町17-7 TEL 0235-24-4633 FAX 0235-25-2522</p>		<p>みつけてあげます 貴女の知らない 貴女の美しさを</p> <h3>丸長</h3> <p>★婦人服一般・慶事 ★仏事・引出物</p> <p>ハリウッド化粧品・ブティック</p> <p>☎24-8181 鶴岡市日出1-3-4 (FAX)22-8185 代表 石川 諄子</p>
<p>日々革新!更に便利が進化する充実の荘銀ネットワーク 革新の金融情報サービスを提供します</p> <p>株式会社 荘内銀行</p> <p>山形県鶴岡市本町1-9-7 TEL:0235-28-2418 URL:http://www.shonai.co.jp</p>	<p>まあるい専 くらしの中に</p> <p>今日、あなたらしく輝き 明日、あなたらしく生き生きと</p> <p>あなただけの専一専を しあわせ銀行は 応援します!</p> <p>山形しあわせ銀行</p>	
<p>胃腸科・呼吸器科 労働者健康保持増進サービス機関</p> <h3>ユニット・ワン 外科 クリニック</h3> <p>院長 佐藤 正典 (72回)</p> <p>〒336-0025 埼玉県浦和市文蔵3-11-3(ユニット・ワンビル2F) TEL 048(865)0929 FAX 048(865)0930</p>	<p>ふるさとのお墓は大丈夫ですか?</p> <p>お墓のクリーニング・リフォーム・維持管理 墓参代行致します。</p> <h3>佐藤石材</h3> <p>御先祖様にやすらぎを……</p> <p>工場 〒997-0044 山形県鶴岡市布目中通り190-2 TEL 0235(23)5677 自宅 〒997-0851 山形県鶴岡市新海町26-16 TEL 0235(22)3536</p>	

<h2>祝 第30回 東京鶴翔同窓会</h2> <p>首都圏24ヶ所 有名ホテル会館等の写真室担当</p> <p>株式会社 五十嵐写真店</p> <p>取締役社長 尾形修三 (52回)</p> <p>〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル TEL 03-3211-1548 FAX 03-3201-5354</p>		<p>株式会社 アイピーエス</p> <p>代表取締役 小花吉彦 (64回卒)</p> <p>〒151-0064 東京都渋谷区上原3-25-9 TEL 03-3469-8211 FAX 03-3465-3501</p>
<p>株式会社 メガ シェアード ビイ</p> <p>代表取締役 佐々木峻 (73回) 顧問税理士 西方照哉 (73回)</p> <p>東京都千代田区麹町4-4 第一麹町ビル8階 〒102-0083 電話 03(3237)6821 FAX 03(3237)6822</p>	<p>鶴翔同窓会総会のご盛会をお祝い申し上げます。</p> <p>株式会社 ホノマ電機</p> <p>代表取締役 本間俊三</p> <p>〒228-0802 相模原市上鶴間1-11-1 TEL 042-746-1616(代) 昭和38年 鶴工卒 中央大学(理)温海</p>	
<p>株式会社 西和工務店</p> <p>西脇啓治 (52回)</p> <p>〒160-0007 東京都新宿区荒木町13番地の4 住友建設ビル内 電話 03-3353-9758(代) FAX 03-3351-0128</p>	<p>庄内米 ほんもの のような の広告 つくつてます。</p>	

鶴翔同窓会ははじめ、みなさまのご協力、ご指導を賜り、致道博物館は、今年二〇〇〇年に創立五十周年をむかえることができませんことを心より厚くお礼申し上げます。

致道博物館には文化財指定建造物が移築保存されております。ご紹介がたがたこの五十歩の歩みを簡単にふりかえってみます。

当館創設者第十六代当主酒井忠良より寄贈された一八六三年創建の江戸屋敷部材が使用されているご隠殿、奥には古庭園があり、大名屋敷の面影が偲ばれます。

明治十七年地元の名匠高橋兼吉が設計、お城を連想させる擬洋風の旧鶴岡警察署が建ちました。明治政府の威容を示したものでしょう。昭和三十一年、新設計画のため、失われそうになったとき、庄内の建築士会のみな様が貴重な文化財をのこそうと情熱をもって行動され当館構内に移築修復されました。

作家森敦さんの小説「月山」を、題字は、高山辰雄画伯がかかれ、村野鐵太郎監督によって映画化されました。それには幻想的に数多くの見事な田舎の多層民家が映し出されております。

でも現在、田舎に残っているのは二軒のみ、時代の趨勢とはいえ、寂しいかぎりです。当館内に移築した一棟、旧渋谷家（一八二二創建）は国重要文化財指定にされ、山村多雪地方の多層民家として昭和四十年に移築保存されています。

そして明治十四年創建の明治天皇の行在所となった旧西田川郡役所（国重要文化財）、昭和四十七年現地保存ができない事情から当館が譲り受け、昭和四十七年移築復元されました。

その後、国指定重要有形民俗文化財八種五三五〇点の収蔵庫を昭和五十六年に館内に、平成四年に松ヶ岡にそれぞれ建設いたしました。このような保存事業はじめ資料収集等々、多くのみなさまからご支援ご協力いただきましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

当館企画展示場の礎石にきざまれている、衆力結びなして功を竣うというこの一言がこれまでの当館の足跡を物語っております。

当館には藩校資料、重要有形民俗文化財、考古、歴史、美術資料など、数多くの展示資料があります。そこには先人たちの生活の知恵と歴史があり、

近年卒業五十周年などを契機に、同期の記念誌刊行が続いているようだ。ぼくら52回卒業生も先輩にならない、一九九四年秋に『青雲乱雪―鶴中出てから50年』を出した。その編集後記にぼくは「おもえば、ひどい中学時代、鶴岡南高百余年史中、もつとも暗い谷間ではなかったか。教師も生徒もいやな思いなしに往時回顧はむずかしからう」と書いた。

入学前年火災で校舎が焼け、ぼくらはまる二年公会堂を間仕切りした臨時教室で過ごした。新校舎再建では、三年になっても連日モッコを担ぎ、校庭の地均しや周濠の埋立てをやらされた。今でも口の悪いのは「授業料とって、正課の作業と称して只で土方作業をさせたひどい中学校」という。「愛校心で」というモットーの何と空疎だったことか。

先日、ぼくらの一年後、敗戦間際の春に卒業した第53期（四年）同級生が九八年に出した会報『ぼんけ』が、律儀な先輩から送られてきた。このクラスは群馬県太田の飛行機工場に「勤労動員」させられている。ぼくらが「暗い谷間」なら、谷間のどん底といって

もいい体験だろう。が、回想は暗さ一色ではなく、寝食をともにした喜怒哀楽が多彩に色濃くにじみ出ていた。尋常の学校生活で味わえない緊迫の人生体験があったからだろう。

ぼくらには運動部以外、合宿のような集団生活の体験はなかった。大石田の陸軍廠舎で何日か泊り込みの教練があったが、絞られただけの苦痛の記憶しかない。庄内平野一円を駆け回った発砲演習も、野営一泊の行事訓練にすぎなかった。唯一寝食を共にした体験は、延一週間の修学旅行だっただろう。

一九四二（昭和17）年、四年生の秋のことである。

京都、大阪、高野山、奈良、伊勢、東京を回った。太平洋戦争突入一年という戦時によくそんな旅行ができたものだと言われるが、「戦勝祈願」という名目で学校側は押し通したらしい。おかげで徒歩で神社仏閣巡り、連日まるで強行軍の旅。でも悪童仲間と安宿の大部屋一杯枕投げでふざけたり、掻き捨てる恥をこきおろしあう楽しい旅だった。

東京では半日自由行動が許された。先走った連中が洋食屋に入って「ぶた

### 〈随想〉 土方作業と 修学旅行



堀井 四郎  
（土井大助）  
（第52回卒）

カツ下さい」と注文してさんざ笑われたとか。蕎麦屋の暖簾をわけたグループは「何にしますか」と店員にきかれて、「もり／かけ十銭」の値段表をみて「もりかけ下さい」。「もりですか、かけですか。どっちですか」「いや、もりかけ下さい」とムキになって、呆れられたとか。帰郷の夜行列車は失敗談で持ち切りだった。――やはり友だちほどこいものはない。

## 致道博物館 五十年の歩み

致道博物館館長  
酒井 忠久  
（第72回卒）

今当館周辺の環境は先端環境科学研究センター、大学院（酒田には大学）の設置が決まり、緑の木々に取り囲まれ、落ち着いた素敵なところと生まれ変わります。そして庄内は、高等教育機関、研究期間が累積し、二十一世紀には、世界にむけ発信し、大きな飛躍をめざす地域になろうとしています。

当館も微力ながら、関連機関とも連携をとりながら、五十周年を機にさらに努力してまいりますので、今後ともご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

心こめてつくられていく手仕事の良さがありません。新たな創造を生み出す根源もこの中にあるといわれています。ぜひ当館をご見学いただきたいと思えます。



胃腸科・外科・眼科・放射線科

**冠木 医院**

院長 冠木徹彦 副院長 冠木敦子 (68回卒)

〒360-0815 埼玉県熊谷市本石1-128(一番街)

☎ (0485) 21-1106

**荻原 歯科 口腔外科**

医学博士 荻原 力 (62回卒)

インプラント・顎関節症  
口周辺の外来手術及び一般歯科

千葉県中央区富士見2-15-1 フラビビル3階  
電話 043-224-7038

## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

内科 胃腸科 小児科

**佐藤 医院**

院長 佐藤 一夫 (昭和40年)

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西1-4-16  
TEL 03-3688-7460 FAX 03-3688-7419

**KINEBUCHI HOSPITAL**

外科・胃腸科・脳神経外科  
整形外科・形成外科  
皮膚科・泌尿器科

**木根淵 外科病院**

〒306-0632 茨城県岩井市市辺1430 ☎ (0297) 35-3131

## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

庄内の歴史と民俗をたずねてー

財団法人 **致道博物館**

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18  
TEL 22-1199

小さな夢も、大きな夢も。

**JA庄内経済連**

フリーダイヤル ☎ 0120-508471

# 「東京鶴翔 同窓会の思い出」

石黒清一 (第72回卒)

三月の初めに同級生の兼子久君から、東京鶴翔同窓会第三十回総会の開催に当たり、寄稿してほしいとの突然の依頼がありました。十年前に二十回総会を開催した時に、事務局を手伝ったこともあり、断るわけにもいかず引き受け、自分が東京鶴翔同窓会の会員だったときの思い出を書かせてもらうことにしました。

私が庄内経済連の東京事務所勤務を命ぜられ、赴任したのが昭和六十三年四月の事でした。その当時は東京に鶴南の同窓会が組織されていることは全く知りませんでした。

庄内経済連の東京事務所は、内神田の大同ビルに事務所を構え、主に庄内米の販売を中心に業務を行っており、近くに庄内銀行東京支店があり、隣組のような付き合いをさせてもらい、当時の青柳支店長に大変お世話になりました。

赴任してまもなく、庄内経済連の米穀部長だった富田弘さんから、「東京鶴翔同窓会が五年に一回ということに北高の同窓会と合同で開催されるにあたり、その出席者に庄内ササニシキ二キログラムを提供する話が進んでいる

ので、東京での窓口になるように」との指示があったことから、初めて東京に同窓会があることを知りました。

最初の年は米の提供、翌年からは総会のプログラムに庄内米の宣伝広告を掲載している立場で参加していましたが、十年前の二十回総会は、卒業年次の末尾が二の卒業生が事務局を担当するとのことで、我々七十二回卒の代表は、安達昌夫君だったので、仕事が終わってから千葉から事務局会議に出席するのは、若干体調を崩していた安達君にとってはきつかったことから、私が代理を勤めることになり、一人では重荷だったので、渡会偵祐君と小鷹光雄君にも声を掛けて三人で、事務局を手伝うことにしました。

同窓会に参加してみても年輩の出席者が多く、我々以下の年代層が少なかつたので、参加しづらい思いをしていたので、三人で同期生をできるだけ多く参加させる活動をし、三十名以上の出席があり、久しぶりに会った仲間と楽しいひとときを過ごさせてもらいました。

五年間の東京勤務は、庄内米の販売では苦労しましたが、東京鶴翔同窓会での付き合いは、その苦労を忘れさせてく

二十一世紀をつなぐ今の高校生には

どんな思い出が残るのであろうか。

## 五月病を癒した 路面電車



五十嵐隆二 (第62回卒)

東京鶴翔会開催の知らせを手にするたびに、南高時代に育んでくれた庄内平野での生活が髣髴と思い出される。ここに、上京当時の思い出を書いてみたい。

所謂田舎の次三男坊は、学校を卒業すれば職を求めて東京の方に行くのが慣例だった。夕方五時過ぎの汽車に乗って、上野駅に着くのは翌朝の六時頃だった。十二時間はたつぷりかかる就職の旅に出るお兄さん達を、当たり前前のこととして見送ったものである。

しかし、なかなか都会の生活に馴れることができず、二〜三年で戻ってくる若者も多かった。「ナガナガむづがしもんだけ」これが、東北青年の東京生活の実感だったようである。そんな実情を見聞きしながら卒業式を待たずに、昭和三十年二月初めごろ上京した。新天地への期待どころか、不安と寂しさでいっぱいだった。

取り敢えず「築地」と言う所に二〜三週間起居した。文字通りのコンクリート・ジャングルと高層建物（建物群に

びっくりしたが、当時は五〜七階建と（思う）の、谷間を吹き抜けるビル風の冷たさが辛かった。頬につき刺さる寒さは、本当に辛かった。二〜三日は、もの珍しく過ぎた。しかし、――

『庄内では、冬の太陽は期待できないが、こんなに冷たい風はなかった。』『クラスメートのあいつは、今どうしているだろう。』

『庄内では、……』

「故郷の訛り懐かしい停車場の……」上野駅が限りなく恋しかった。懐かしい友に会えると信じたが、訛りが漂うホームには知る人は見当たらなかった。

「山の手線」が一時間以上かけて一周し、出発駅に戻ってきて、町並みは途切れない巨大さが不思議だった。想像を絶するものがあつた。鶴岡の町が幾つも続いた大都市に、一人ぼっちで生きて行くことに何となく自信を失いかけてきた。

さらに、桜の花が咲き始めた頃は、

ホットな情報・四季の味覚の配達人

**鶴岡江戸屋敷**

鶴岡市東京事務所  
〒134-0088 江戸川区西葛西7-28-7  
TEL 03-5696-6821  
FAX 03-5696-6822

**企業誘致にご協力を!**

豊かな自然とすぐれた人材に恵まれたつるおか。そこには、多くの工場(企業)適地があります。いま、鶴岡に立地される企業を求めています。首都圏でご活躍されている方々のご紹介、また、地方への企業進出の話がありましたら情報をお寄せください。

鶴岡市東京事務所 電話03-5696-6821まで

れる楽しい思い出の一つとして忘れることが出来ません。

田中浩さん、去年までの会長、大変ご苦労さまでした。また、当時お世話になりました加藤次郎さん、中村信雄さん、上野誠さん、菅原隆輔さん、渡部定三さんにも、あらためてお礼を申し上げます。と思います。本当に有り難うございました。

最後に、第三十回東京鶴翔同窓会が盛會裡に開催されることを、お祈りいたします。

故郷の赤川土手や公園の桜がこよなく恋しく、身も心も庄内に居る虚ろさだった。

巨大都市のど真ん中で、唯一人の存在が寂しかった。路面電車で坂を登り、下り坂を過ぎて何処まで行っても、料金と同じだった。路面電車で「上野駅」まで何回も行ったものである。訛りが交錯する人込みの中に、雪を被った機関車を見て、故郷の温もりを実感し安堵するのであつた。まさに、五月病だったのであろう。

路面電車に乗ることで少しずつ東京が身近に感ずるようになった。信号待ちしながら、のんびりと行き交う車窓から眺める町の姿に興味を感じてきた。

「庄内恋し」「鶴岡恋し」の、五月病を癒してくれたのが路面電車だったとすれば、何とも妙な因縁である。当時の十八歳の少年も、今は六十歳を過ぎた。

二人の娘は、こんな五月病を経験したかは聞いていない。娘達にはそれぞれ二人の子供があり、四人の孫に振り回されながら、老妻と共にささやかな幸せを満喫している昨今である。

今は一路線しか残さず、全く姿を消してしまつた路面電車に感謝する。

祝 第30回 東京鶴翔同窓会

祝 第30回 東京鶴翔同窓会

手打そばと炭焼き

OHMATSUYA

**大松屋 & 蔵店**

中央区銀座 6-5-8 エルドールビル  
電話 03-3571-7053・3574-4200

酒田市生石 酒田カウンタークラブ下 電話 0234-94-2617

御宴会・法要・同窓会・クラス会等、一度お電話をどうぞ!!

割京 郷土料理

**庄内おばこ**

和風別館「出羽」

代表取締役 佐藤勝義 (鶴岡大山出身)

〒213-0032 川崎市高津区久地四八六番地  
電話本店 044(833)7309番代 FAX 044(844)9670

祝 第30回 東京鶴翔同窓会

HVI 原子力/LNG/高温高压/プラント用バルブ

**平田バルブ工業株式会社**

取締役社長 平田次二  
取締役事業本部長 飯塚進 (62回卒)

〒213-8691 川崎市高津区久本3丁目2番3号  
TEL 044-812-8555 FAX 044-822-5101

最新の情報通信技術を駆使した  
トータルソリューションベンダー

**INS エンジニアリング株式会社**

代表取締役社長 高橋徹 (62回)

〒141-0031 東京都品川区西五反田4-31-18  
電話 03(3490)6001(代) FAX 03(3490)6009

# 青春



菅原敬子 (第62回卒)

お濠端には桜の花が咲きほこり水面にその影を映す。そして幾日もたたずに花びらはお堀を埋めつくす。何と美しい光景だったことか。木々の緑のにおいの中に花菖蒲が咲き、鶴岡公園はまた別の顔を見せる。

公園を抜けて登校する毎日。何よりも好きな道であった。白い大宝館の市立図書館は学校帰りの最大の楽しみ場であり、寄らない日はなかった。すっかり顔なじみになった司書の方はこんな本入りましたヨと教えてくれたり、真新しい本を貸して下さったりした。あまり本を買えなかった私はおかげで良い本をたくさん読ませていただいたし、まさに図書館は私の勉強部屋であった。鶴岡公園は鶴岡南高校の庭のようにそのたたずまいをなしていた。何と贅沢な環境だったことか。

昨年母校に入学した生徒は女子の方が多く、全校の女子の比率も年々高くなっていくのか。私たちの入学した昭和二十七年は鶴岡高等学校が鶴岡北高等学校と鶴岡南高等学校と二つの高校に分離し、前年度までの入学募集は約五百五十名だったのが半数の三百名となったときであった。どうしても南高

校は男子校としてのイメージが強く、女生徒は普通科で二十四名しか入学しなかった。学校の方針もあったのか五クラスのうち女生徒全員と二十五名の男生徒で一クラスが編成された。そのため共学のクラスになった男生徒はうらやましがられたり、隣の教室から冷やかしの声が聞こえたりした。二年生になって初めて全クラスに女生徒が四五名分散された。勉強が得意という面々が多くあんまり勉強しなくてもどうにか過ごせる雰囲気であったが、最終学年ではぐんぐん勉強しあれあれという間に頭角を表した諸氏も多く記憶にある。

楽しい高校時代であったからこそ今でもみんなで会えばたちまち賑やかに方言でしゃべくり、高校当時の顔に戻る。卒業後こんな機会が続いているのも、中核となってくれる素晴らしい友々のおかげでもある。

今、高校は個性豊かな教育への変革を進めているが、今の高校生気質は母校のイメージを変えていくのかもしれない。青春時代を自由な雰囲気と自然環境に恵まれた鶴岡南高校で学べたことをありがたく思っている。

# 還暦を

## クリアして



芳賀二三夫 (第62回卒)

昭和十二年生れの第六十二回生、退職して四年過ぎました。鶴岡南高校の木造校舎と桜並木と池、池の傍のラーメン屋さん、失敬して焼肉を頂戴、大変美味しかった。部活の部屋で九時か十時の早お昼、靴下の臭いが充満して

るのに美味かった記憶がある。部屋は講堂の端の方に一坪位の大きさのものが五、六室並んだ。一クラス四十二名前後の中に女性が四、五人、全部で六クラスあった。今は少子化で何クラスあるんだらうか。思い出せば懐かしい事ばかりある。紙面で、ちよつと語り尽せない。

当地に来てから同期の新年会、忘年会、ゴルフ同好会等毎年一つの行事になっている。ゴルフの会「鶴南会」は年二、三回、記録では今年中に第八十回にもなるうとして。二年位前そのゴルフ仲間のIMSの三君と一泊のプレー中、心筋梗塞を患った。最初胃痛のような感じで、帰宅後強い薬を飲んだが治まらない。丁度土曜の午前中だったので、主治医に、大きな病院へ即入院が必要との事である。苦しさを我慢して日曜に妻と車で病院へ。即入院であった。心臓の三本の大きな血管

の内一本半が詰まっていた。車の運転が悪かったと見え随分苦しい思いをした。

還暦を過ぎたら無理は禁物である。原因は滅私奉公？酒量の多さ？と運動不足である。半月もしたら退院の積りで誰にも知らせなかったが、その内一定の友人たちには知れてしまった。前記の三君やO君等が見舞いに来てくれた。

医師は相当深刻な云い方をしたが、私はあぶない感じではなかったので適当に聞いていた。しかし念の為、新宿の病院でも数回診察してもらったが、同じ結果であった。従って知人に差し入れにビール、コーヒを無理矢理持つて来てもらった。それが結果として長く入院する羽目になる。差し入れは十回以上である。ゴルフ仲間では、三途の川を渡った者が、現存する者達に飲食代としてウン拾萬円を提供する事が、暗黙の了解事項となっているから、まだまだ最初に提供するのには御免である。

鶴南会は十六、二十名位の楽しい仲間なので、腕を上げ、勝って存在をアピールしたい。それには道具の選択も必要。年のせいばかりではない。

# 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

加藤法律事務所  
 弁護士 **加藤次郎** (62回)  
 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号  
 新橋駅前ビル1号館6階604号室  
 TEL 03 (5537) 5501 ~ 5502  
 FAX 03 (5537) 5503

株式会社 東伸ビルディング 顧問  
 株式会社 アーバンクリエイト  
**奥山 綏** (62回卒)  
 〒221-0834 横浜市神奈川区台町10-20-701  
 TEL 045-324-6119

川崎市議会議員  
**菅原敬子** (62回)  
 事務所/〒215-0027 川崎市麻生区岡上51-7-101  
 電話・Fax 044-987-3260  
 自宅/〒215-0027 川崎市麻生区岡上120-4  
 電話・Fax 044-988-5032

**山口 武**  
 (62回卒)  
 日立ピアメカニクス株式会社  
 代表取締役社長

**丸山商事株式会社**  
 丸山 政志 (62回卒)

**坂元税務会計事務所**  
 税理士 坂元 鐵平 (62回)  
 事務所 〒228-0011 神奈川県座間市相武台3丁目4721番地13  
 三協相武台駅前ハイツ207号  
 電話 046(253)6049(代) FAX 046(256)7594  
 自宅 〒228-0012 神奈川県座間市広野台1-3-12  
 電話 046(255)2051

# 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

知的財産の保護と活用  
 技術移転契約の交渉と締結  
**石川特許事務所** Ishikawa & Associates  
 所長 **石川 新** (62回)  
 〒105-0001 港区虎ノ門1-2-29 虎ノ門産業ビル  
 Tel 03-3503-5306 Fax 03-3503-2993

一級建築士  
 株式会社 **新東京設計事務所**  
 代表取締役 **高橋 進** (62回卒)  
 本社 〒161-0034 東京都新宿区上落合2丁目2番12号  
 (ウイメンズ落合306号)  
 TEL 03(5389)7981  
 FAX 03(5389)7982



空海だつて筆を選んだと云うから、久しぶりにどうしても勝ちたい。糖が出てきていたり、肝臓の数値が悪いからとか、息子のような若い主治医に、飲むな食べると云われているが月二回位通院しているから、毎日一本位のビールは止める積りもなく楽しんでる。八十九才の母には、書や絵を習えと散々云われているが、七十才からと考えている。どうも病は気からと云うが、深刻に考えず自分のペースで、医師の忠告も最小限取り入れ乍ら生活する事がストレスもなく、私の病との共存の仕方なのである。今では病など一切気にならず、庭や頂いた梅の盆栽等の手入れ、何度観ても素晴らしい叔彦、遊亀さん達の絵、藤沢さん、丸谷さん等大先輩がたを讀んだり、時には孫も遊びに来るし、煩惱の塊のような私としても、満足しなればと、考えているこの頃です。

# 「海坂藩の 絵地図を作つて」

松田 静子  
(第66回卒)

藤沢周平さんの作品に熱中し、ついには地図を作った人、というと井上ひさし氏が有名であるが、『蟬しぐれ』の城下地図を作った人は他にもおられる。精密に描かれた「海坂藩」城下図を拝見したこともある。それは架空の藩なのに、小路の奥の佇まいまで連想させるほどのリアリティのある地図だった。

しかし「海坂藩」ものは、『蟬しぐれ』だけではない。『三屋清左衛門残日録』も『風の果て』『たそがれ清兵衛』『麦屋町昼下がり』や『秘剣シリーズ』の作品も舞台は、みな海坂藩である。大半は江戸の浅草暮らしだけれども『用心棒日月抄』の又八郎の国元も海坂藩である。その海坂藩は藤沢さんの故郷荘内藩をモデルにしたというのは周知のことだ。

そんなわけで熱烈な藤沢ファンの人々が全国から鶴岡を訪ねてくる。市の観光課には、ボランティアのガイドさんが何人か登録され、無料で市内や黄金の高坂(生地跡)・湯田川(教員生活の跡)などに案内をしておられる。ところが、こういうガイドさんに頼らず自分たちで廻ろうという人々にはさぶる不親切で素っ気ない状態である。文学地図は無いし案内のポスターや看板

など皆無で、本当にここが藤沢周平の故郷か、と疑いの念を抱くといったような話を聞いた。鶴岡イコール海坂でないのは百も承知の上で、えいとばかり作ってみたのが今回の絵地図である。

イメージを追って重なる場所に作品名を入れる、という原案は私が作ったが、この地図を手描きした佐藤武美さんの苦勞の結晶といふべきだ。何度も書き直していただき、完成まで数ヶ月もかかった。和紙を使ったのも評判がよく、既に第三刷目に入ったほどの売れゆきである。全国から問い合わせが殺到し、取り扱い元の鶴岡書店さんの電話とファクスがパンク状態とか。一部百円は全く利益なしの値段である。それにしても、こんなにも全国に「海坂藩」ファンがいるんだ、と驚き、感動を新たにしている。

一月十六日、鶴岡で藤沢周平さんの忌日(二月二十六日)を前に「しのぶ会」が催された、市民団体「鶴岡・藤沢周平文学愛好会」(本間安子代表)が主催し、名称も「寒椿忌」と名づけられた。手づくりの素朴な会ながら、ぬくもりのある雰囲気であつた。直木賞作家の佐藤賢一さん(昭和61年93回卒)

# 合唱組曲 「はじめての町」



佐藤 敏直  
(第62回卒)

一昨年、鶴岡市から市制75周年記念事業の一環として委嘱された合唱作品が、昨年完成し、12月12日鶴岡文化会館で初演された。テキストは茨木のり子さんの詩で、オーケストラ付きの混声合唱組曲である。演奏は、鶴岡混声合唱団・土曜会と母校の音楽部総勢約一三〇人、それに山形交響楽団が加わり、作曲家、つまり私の指揮で行われた。

詩人の茨木さんは昨年以上梓された詩集「倚りかからず」がベストセラーにもなつて話題を呼んだが、この詩人はご母堂が三川のご出身であるゆえ、ご主人も鶴岡の方だった。

どちらかといえば器楽作品の多い私であるが、詩人や詩には関心を持って来た。茨木さんの詩を初めて読んだのはまだ母校にいた頃だっただろうか、その後ずっと私を刺戟し続けた詩人の一人だった。今回の委嘱に際しては、いわゆるご当地ソングではなく、全国どこにでも通用する意味をもつものにした。という実行委員会の意向により、詩は私が自由に選べることになったことに幸い、茨木作品に作曲

の町」は、この組曲のタイトルでもあるが、イメージしていた組曲の冒頭に相応しいものだった。つまり、どの町にでも共通する風物や住む人の感情という視点で詩を眺めていった結果、私にとつて音楽にする余白が残されているものを、詩人とも相談して七篇選ぶことができた。我儘を言つてこの行事のために新たに一篇書き下ろしていた「秋」という新作は、白鳥と鶴をあしらつた色彩的な小品で、具体的な地名はないが、荘内の晩秋を彷彿とさせる。これで八篇となった。

その昔、何でお前は小椋佳みたいな音楽を作らないんだ、などと尋ねられ、答えに窮したことがあつた。今でも新作の初演に来てくれるクラスメイトたちは、お前の曲はワカラナイと散々である。「現代音楽」という言葉にこれといって定義があるわけではないが、一般的な音楽愛好家からは嫌われる響きであるようだ。

しかし当の本人は、いまさらベートーヴェンやドビュッシーのような、西洋人がすでに発言してしまつた表現に戻す意味を認めないし、また好まれることだけを目的とした作品は書かないと決めているから、小椋佳になるうはずはない。地道に、納得のゆくまで自分の装と対峙しながら、新しい表現を造形していく以外に手はないのである。

そのうえ、幸か不幸か、現代という衣装を着て新奇に銜つて成功させるほどの才能もないから、冒険や実験はするが、芸術家として自己診断すると狂気ぶりがやや足りない、忘れ難い土団子にも似た、何か塊のようなものを不器用にこね回すことになる。

そんなわけで、「はじめての町」は注文主の「どこでも誰でも歌える」という条件にはかなり背いたように思う。だが初演している私の背中には、会場の受け手がもたらす強い磁界が及んでいた。それは、このところ日本合唱連盟主催の合唱コンクールでたびたび金賞に輝いている両合唱団の好演と、素晴らしい響きで支えてくれた山響によるところが多い。こうして棒を振つた私は、作曲家だけが知る至福の時を得たのである。

会長 佐藤勇三 (昭14・47回)

田村町店 二丁目大村ビル 電話3580-0826  
新橋店 上二ビル地下 電話3580-6693  
銀座店 服部和光裏 電話3567-3355-7  
日本橋店 ツムラビル地下 電話3275-2486  
喫茶モン ツムラビル2F 電話3275-1697



## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

古書目録 毎月発刊中

阿部久書店  
月山書房

古書 買入

郷土料理

「お昼食、ご利用しております。」

### おばこ

大内 瞳 (酒田市出身)

東京都中央区銀座1-4-10  
大内ビル(実業之日本並び)  
電話 03-3561-6466

和食とワインの店

### 八陣

割烹 小田島 八陣 はちじん

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-3  
吉祥寺東急イン地下一階  
TEL・FAX:0422-47-7310

1人1部屋・各部屋冷暖房完備・電話配線施工済  
部屋代月1万円、庄内地方上京学生の寄宿寮として105年。

《入館照会受付中》

### 荘内館

財団法人

館長 菅原良雄 (57回)

〒114-0015 東京都北区中里3-7-7  
TEL & FAX 03-3949-2646

## 祝 第30回 東京鶴翔同窓会

自然採光・トップライトのバイオニア  
設計施工専門業者

### 日昌ガラス株式会社

専務取締役 工藤 司朗 (62回卒)

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目14番9号  
TEL 03-3667-3091  
営業所:東京・大阪・名古屋・福岡

住まいのファーストステーション 賃貸情報センター  
東京都知事免許(3)第61129号 地全国宅地建物取引業保証協会会員

### 朝日クリエイト有限公司

〒187-0024 東京都小平市たかの台20番2号  
TEL 042(342)5311  
代表取締役 佐藤 隆 (62回卒)

※初演のライブCDが鶴岡市より発売されて  
います。(二五〇〇円)  
★お問い合わせは、鶴岡市役所内・社会教育課  
まで。